

LAMP® 上吊式引戸 FD30-H 上ローラー木口掘込 デュアルソフトクローザー仕様 施工説明書 品番：FD30DHCP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 一般住宅向けの上吊式引戸金物です。
- 扉を開閉する双方向にクローザーが働き、戸先は2段階、戸尻は1段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

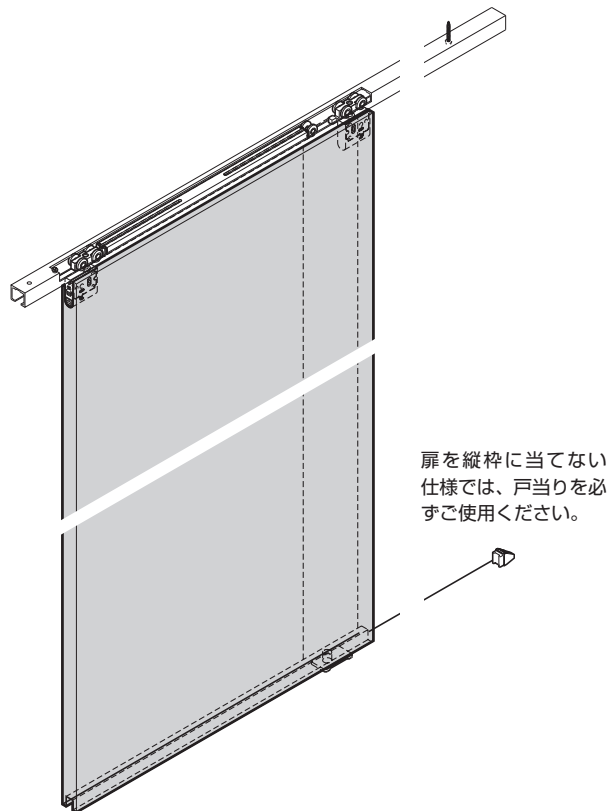
仕様

扉高さ	2400 mm 以下
扉幅	590 mm ~ 1000 mm
扉厚	24 mm 以上
扉質量 (1枚当り)	30 kg 以下 ※ 1
扉上下調整範囲	上方向に 3 mm、下方向に 4 mm
扉前後調整範囲	± 2 mm

・使用場所の室温、操作方法および取付け状態などにより、ソフトクローサー機構による扉の閉じる速さは変わります。

・使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。

※ 1 軽い扉で使用した場合、扉を開ける際の抵抗が大きく感じることがあります。



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味



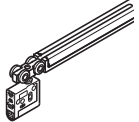

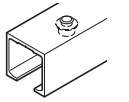
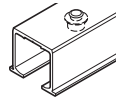
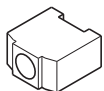


警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

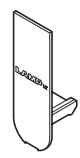
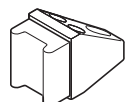
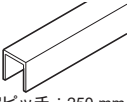
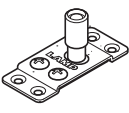

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

部品一覧

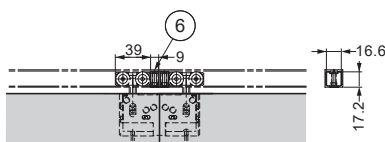
No.	①	②	③	④	⑤	⑥	
品名	デュアルソフトクローザー	上ローラー(掘込用)	トリガー取付治具	下ガイド	ソフトクローザー専用上レール(面付用)	ソフトクローザー専用上レール(掘込用)	ストッパーブロック
品番	FD30-WRH-DSC	FD30-WRH-N	FD25SP-30-TRG FD25SP-30-TRJ	FD30-HBG-LBR	FD30-TRM 型	FD30-TRH 型	FD30-HSB
部品	 付属: 十字穴付なべタップピンねじ 3.5×30 …………… 3ヶ	 付属: 十字穴付なべタップピンねじ 3.5×30 …………… 3ヶ	 トリガー 治具	 付属: 十字穴付皿タップピンねじ 3.5×30 …………… 4ヶ	 1820 mm ~ 4000 mm 穴ピッチ : 300 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タップピンねじ 3.5×20		
片引き戸		1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	面付用か掘込用を1本	—
引き違い戸		2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	面付用か掘込用を2本	—
引分け戸		2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	面付用か掘込用を2本	2ヶ

オプション	No.	⑦	⑧	⑨	⑩	⑫
	品名	上ローラー用化粧キャップ	戸当り(床付用)	扉下側埋込みガイドレール	下ガイドローラー付(軸長タイプ)	スパナ
	品番	FD30-WRH	FD30-HTKY	FD30-HBRT 型	FD30-HBGH	FD30-FSP
部品	 厚さ: 2 mm	 付属: 十字穴付バインド タップピンねじ 4×30 …………… 3ヶ	 1000 mm ~ 1500 mm 穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タップピンねじ 4×20	 付属: 十字穴付皿タップ ピンねじ(ステンレス鋼) 3.5×30 …………… 4ヶ		

寸法図

(本書では片引き戸を例に説明しています。)

ストッパーブロック使用時 (2枚引戸引分けの場合)

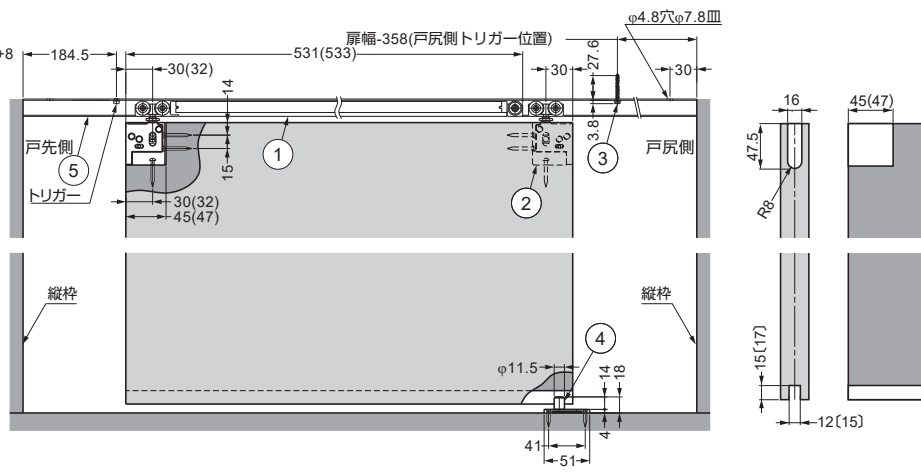
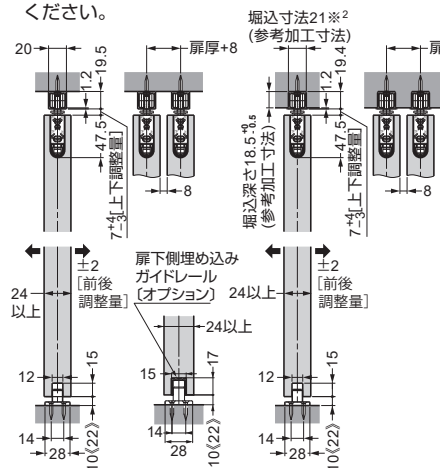


推奨ねじ:
十字穴付皿タップピンねじ 3.5 × 20
注: お客様手配



扉の加工

※ 2 クロス等を巻き込む場合、その厚みを加味してください。



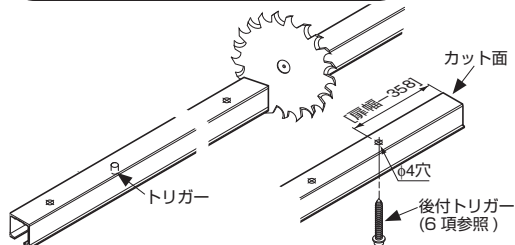
() 寸法は、オプションの上ローラー用化粧キャップ⑦を使う場合の寸法です。
 < > 寸法は、オプションの下ガイドローラー付(軸長タイプ)⑩を使う場合の寸法です。
 [] 寸法は、オプションの扉下側埋込みガイドレール⑨を使う場合の寸法です。

1 取付前の準備、取付け

1. レールの切断、穴加工

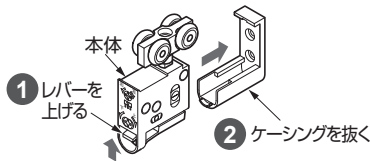
注意

- ⊘ トリガー (ラベル) 側は切断しないでください。
- ❗ レールが変形しないように補強材などを入れて切断してください。



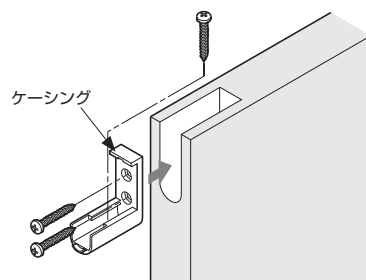
2. 部品の組み込み準備

デュアルソフトクローザーと上ローラーをそれぞれ、本体とケーシングに分ける。



3. ケーシングの取り付け

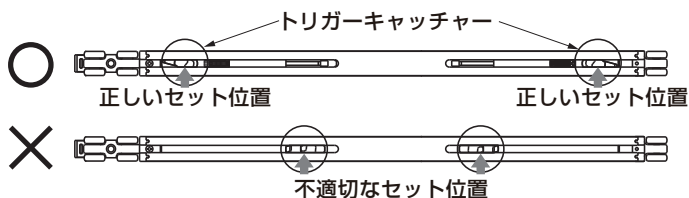
付属ねじで確実に固定する。



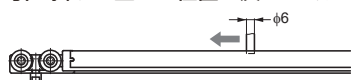
4. ソフトクローザーを取り付ける前の確認

注意

❗ 確認しないで取付けた場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。



位置が正しくない場合、φ6の固い丸棒でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しい位置に戻してください。

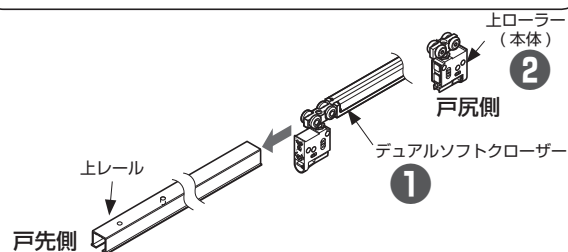


5. 上レールへの部品の組み込み

各部の向きに注意し、①、②の順に組み込む。

注意

- ❗ 組み込んだ部品が落ちないように、上レールとクローザー、上ローラーをテープで仮止めしてください。
- ❗ 上レール内のごみやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。



6. 上レールの取り付け

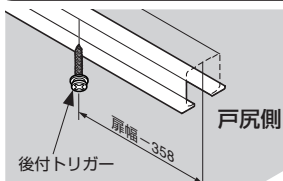
推奨ねじ：皿タッピンねじ3.5×20 (お客様手配)

7. トリガーの取り付け

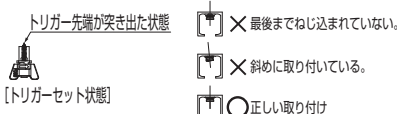
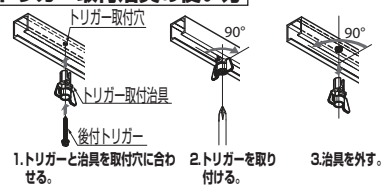
トリガーを手順1で開けた取付穴に、付属の治具を用いて取り付けてください。

注意

❗ 後付トリガーは垂直に取り付けてください。トリガーが傾いていると、動作不良が起ることがあります。

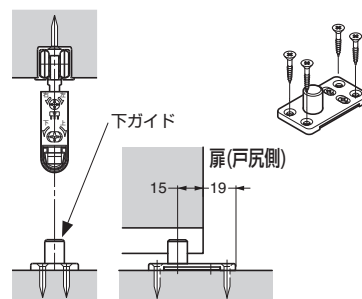


トリガー取付治具の使い方



8. 下ガイドの取り付け

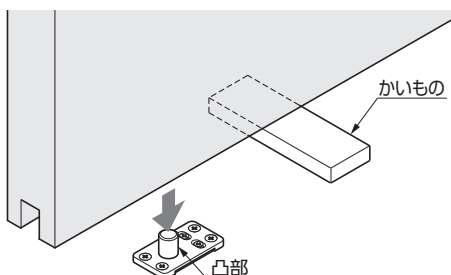
上レール中心の真下に下ガイドの中心を合わせる。扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が図の位置になるよう調整し、付属ねじで取り付ける。



2 扉の吊り込み、調整

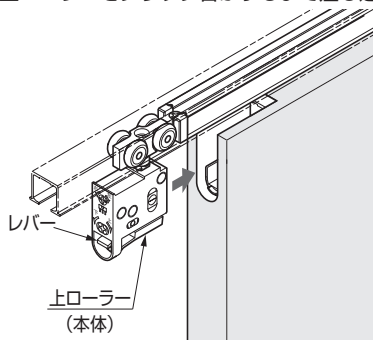
1. 扉の吊り込み (扉下部)

扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



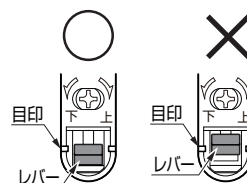
2. 扉の吊り込み (扉上部)

上ローラーをクリック音がするまで差し込む。



注意

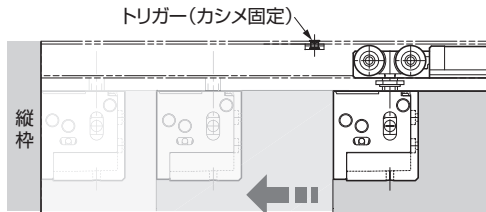
❗ 上ローラー (本体) がケーシングから外れないか確認してください (戸尻・戸先両側)。



3. ソフトクローザーの動作確認

- 扉の下から、かいものを外す。
- 扉を戸先側にゆっくり動かし、クローザーがトリガーに当たり、扉が最後まで閉じるか確認する（閉じ始め位置は縦枠の約100 mm手前）。
- クローザーが正しく機能していない場合は、このページ下の「困った時の対応」を参照。

注意
 扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



4. 扉の位置調整

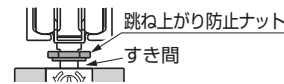
扉が上レールと平行で床面とのすき間が6~13 mmになるように調整する。

注意

① 跳ね上がり防止ナットが緩んだ状態で調整をしてください。

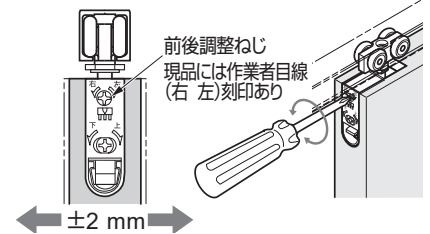
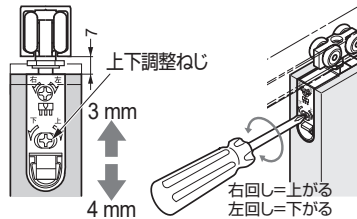
⊘ 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。

⊘ 調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。



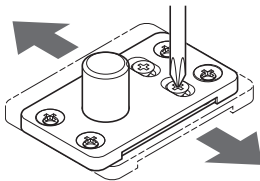
扉の上下調整範囲：7 mm

扉の前後調整範囲：4 mm



5. 下ガイドの調整 (調整範囲±2 mm)

扉をゆっくり開閉する。扉の動きに引っ掛かり感があれば、下ガイドと扉の前後を調整する。

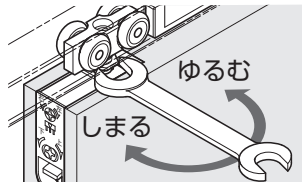


6. 跳ね上がり防止ナットの固定

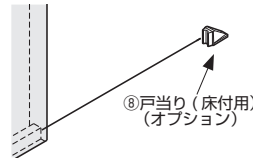
ローラー吊り軸(両側)の跳ね上がり防止ナットを本体に接触するまでスパナ呼び12で締め付ける。

注意

① 必ず締めてください。閉め忘れは、故障・破損の原因になります。



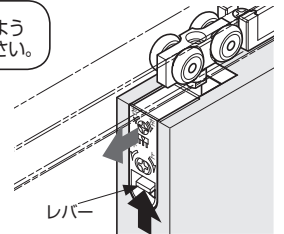
扉を縦枠に当てない場合、レールを掘り込み、バンパーブロックをレール両端に取り付け、床に扉を止める位置に戸当りを必ず取り付けてください。



扉の外し方

- 扉の下に10 mmのかいものをはさむ。
- 上ローラー(本体)のレバーを上を持ち上げたまま、上ローラー(本体)をケーシングから引き抜く。

注意
 扉を倒さないよう注意してください。



定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ・レール内の掃除をおこなってください。 ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。
-------------	---

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~13 mmになるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して、上レールを水平に付け直してください。
	モヘア等を使用していませんか。	モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢よく閉じていませんか。	扉を勢よく閉じた場合、機能が十分に発揮されず、故障の原因になりますので、おやめください。
	手順 1-4 のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります。(レールを取り付けた状態では確認できません。)	扉とレールを取り外し、手順 1-4 の確認を行ってください。
扉の開閉時に異音が発生する	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~13 mmになるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように扉の前後調整をしてください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものところすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置調整をしてください。
	手順 1-4 のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります。(レールを取り付けた状態では確認できません。)	扉とレールを取り外し、手順 1-4 の確認を行ってください。
扉が開閉しない	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE **スガツネ工業**
 LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
 E-mail: support@sugatsune.co.jp